

一般講演 (1日目)

A会場 (外来診療棟 6F 大講義室) 11月16日(土)

(○発表者、※優秀講演発表賞対象者)

座長は前の講演者をお願いします

セッション1 (10:00~11:30)

A-1 [10:00] クロコノマチョウ幼虫の集合性について

江田慧子 (信州大・山岳科学総合研)、熊澤真優

○中村寛志 (信州大学農学部AFC)

A-2 [10:15] 丹沢山地におけるブナハバチ幼虫のブナ葉への食害発生状況 2013

○谷 晋 (東海大学総合教育センター)、伴野英雄 (桜美林大学自然科学系)

山上 明 (東海大学総合教育センター)

A-3 [10:30] 中部山岳域におけるハイマツを食害するハバチ*Gilpinia* sp. 新種の生態と分布について

※○古屋 諒、斉藤雄太、中村寛志 (信州大学農学部AFC)

江田慧子 (信州大・山岳科学総合研)

原 秀穂 (北海道立総合研究機構・林試)

A-4 [10:45] 湛水期間の異なる実験水田間においてドジョウ *Misgurnus anguillicaudatus* の繁殖状況は変化するか?

※○田和康太¹・中西康介 (ナカニシコウスケ)^{1,2}・

沢田裕一¹ (1. 滋賀県大・環境科学 2. 名大・院・環境)

A-5 [11:00] 異なる時季に里山に設置した人工池への水生昆虫の移住

※○鈴木真裕、平井規央、石井 実 (大阪府大院・生命環境・昆虫)

A-6 [11:15] キャンパス内ビオトープ池におけるヨシ刈りと外来種除去が水生動物群集に与える影響

※○北野絵理、平井規央、石井 実 (大阪府大院・生命環境・昆虫)

一般講演 (1日目)

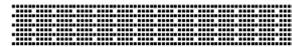
A会場 (外来診療棟 6F 大講義室) 11月16日(土)

セッション2 (13:30~15:30)

- A-7 [13:30] 近年の諏訪湖底生動物群集の湖全域にわたる分布とその密度
○平林公男、武田昌昭(信州大・繊維)、宮原裕一・花里孝幸(信州大・山岳科学)・
上野隆平、今藤夏子、高村健二(国立環境研)
- A-8 [13:45] ヒゲナガカワトビケラの摂食内容の変化と流下粒状有機物の組成との関係について
※○坂田啓三、谷田一三(大阪府大院・理)
- A-9 [14:00] 富山県の山地においてマレーズトラップで捕獲されたトビケラ成虫
○木村悟朗(イカリ消毒株式会社 技術研究所)
山内健生(富山県衛生研究所)
- A-10 [14:15] 寄生虫を介した森林と河川の繋がり
佐藤拓哉(神戸大学大学院理学研究科)
- A-11 [14:30] 兵庫県下の河川に分布する異形吸虫科吸虫の疫学調査
※○小松慎太郎、湊 宏美、中西由紀、宇賀昭二(神戸大学大学院保健学研究科)
- A-12 [14:45] 異形吸虫科に属する小吸虫の淡水魚への感染とその後の体内発育
※○中西由紀、小松慎太郎、湊 宏美、宇賀昭二(神戸大学大学院保健学研究科)
- A-13 [15:00] 竹材中のチビタケナガシンクイの摂食活動のモニタリング —X線CTを用いた幼虫の摂食量の測定
※○渡辺祐基、築瀬佳之、藤井義久(京都大学大学院農学研究科)
- A-14 [15:15] 東京都港区の小公園におけるアオドウガネ成虫の発生状況(2008-2012年)
○中野敬一(東京都港区)



一般講演 (1日目)



B会場 (外来診療棟 5F B講義室) 11月16日(土)

(○発表者、※優秀講演発表賞対象者)

座長は前の講演者をお願いします

セッション1 (10:00~11:30)

- B-1 [10:00] アメリカカンザイシロアリとイエシロアリの数種の無機塩類に対する嗜好性比較
○大村和香子、伊藤優子、加藤 厚、桃原郁夫 (森林総研)
- B-2 [10:15] 実験住宅床下における種々の粒子物理バリアのシロアリ貫通阻止性能評価
○築瀬佳之、藤原裕子、藤井義久 (京都大学大学院農学研究科)
森 拓郎、藤原裕子、吉村 剛 (京都大学生存圏研究所)
土居修一 (元筑波大学)
- B-3 [10:30] ノシメダラメイガ成虫の外部から室内への飛来侵入経路の1考察
辻 英明 (環境生物研究会)
- B-4 [10:45] 新規チョウバエ用駆除剤の検討
○※寺口さやか、引土知幸、神崎 務、中山幸治 (大日本除虫菊株式会社)
- B-5 [11:00] LEDおよびCCFL照明に誘引される昆虫類
○木村悟朗、春成常仁、伯耆田勇一、谷川 力 (イカリ消毒株式会社)
- B-6 [11:15] 汎用されている白色LEDランプの飛翔性昆虫の誘引性について
○荒川正樹、角野智紀、水原寛美 (株式会社化成)
新庄五朗 (日本環境衛生センター)

一般講演 (1日目)

B会場 (外来診療棟 5F B講義室) 11月16日 (土)

セッション2 (13:30~15:15)

- B-7 [13:30] 京都市伏見区の人工水路遊歩道でのアルゼンチンアリ侵入拡大について
○中嶋智子、関 誠一、片山哲郎、横田 景、分銅絵美、越智広志 (京都府保健環境研究所)
- B-8 [13:45] キク科植物を加害するアワダチソウゲンバイ *Corythucha marmorata* の
警報フェロモン
※○渡邊綺咲、清水伸泰 (京都学園大学バイオ環境学部)
- B-9 [14:00] ワラジムシ類数種の防御物質とフェロモン候補物質
○清水伸泰、鎌田員暢 (京都学園大学バイオ環境学部)
唐沢 重考 (福岡教育大学)
- B-10 [14:15] キンリョウヘンの誘引成分に基づくニホンミツバチの分蜂群誘引剤の開
発
※○桂 悠、中西 遼、大秦正揚、坂本文夫 (京都学園大学・バイオ環境)
- B-11 [14:30] アメリカカンザイシロアリに対するホウ酸化合物の効果 午後希望
○板倉修司、山口貴寛、福田真人 (近畿大学農学部)
- B-12 [14:45] Evaluation of Nest-founding Behavior of Primary Reproductives of
the Invasive Drywood Termite *Incisitermes minor* (Hagen) (Isoptera: Kalotermitidae)
by X-Ray Tomography
○S. Khoirul Himmi (RISH, Kyoto Univ.), Tsuyoshi Yoshimura (RISH, Kyoto Univ.), Yoshiyuki Yanase
(Graduate School of Agric., Kyoto Univ.), Masao OyaOya Shiroari Giken), Toshiyuki Torigoe
(Kyusyu National Museum), Setsuo Imazu (Kyusyu National Museum)
- B-13 [15:00] Aggregation behavior of a powder post beetle, *Lyctus africanus* (Lesne)
Titik Kartika, ○Tsuyoshi Yoshimura (RISH, Kyoto University)
Nobuhiro Shimizu (Kyoto Gakuen University)

一般講演 (2日目)

A会場 (外来診療棟 6F 大講義室) 11月17日 (日)

セッション3 (10:00~11:30)

A-15 [10:00] カラスノエンドウを用いたアルゼンチンアリの生息域調査について

○横田 景、中嶋智子、片山哲郎、分銅絵美、越智広志 (京都府保健環境研究所)

A-16 [10:15] 新しい長期残効性蚊帳 Olyset(r) Plus のアフリカ野外系ハマダラカに対する生物効力

○大橋和典¹、John Lucas²、John Invest²、手嶋勇人、庄野美徳¹

(1 Health and Crop Sciences Research Laboratory, Sumitomo Chemical Company, Ltd, Hyogo, Japan

2 Vector Control Division, Sumitomo Chemical Company, UK, Plc)

A-17 [10:30] Preventative effect of Neem oil from feeding damage of rodents

○Ahmed I. Youssef^{1,2}, Uga S², Maeda Y³, Ogawa G⁴.

1. Department of Animal Hygiene, Ethology, and Zoonoses, Faculty of Veterinary Medicine, Suez Canal University, Ismailia, 41522, Egypt. 2. Department of Parasitology, Faculty of Health Sciences,

Kobe University Graduate School of Health Sciences, Tomogaoka, Suma-ku, Kobe 654-0142, Japan.

3. Hanshin Eizai Inc. 8-6 Nishifuku-cho, Nishinomiya, Kobe 662-0844, Japan. Apuri Inc. 2-43-3,

Higashinipponi Arakawaku, Yokyo 116-0014, Japan.

A-18 [10:45] 大阪市内における屋外生活ネコ個体群動態のベイズ推定

○高倉耕一 (大阪市環科研)、阿部拓人、土井一秀

真田秀一 (大阪市動物管理センター)・長谷 篤 (大阪市環科研)

A-19 [11:00] 栃木県の短伐期里山林におけるチョウ類群集の構造と種多様性

松本和馬 (森林総合研究所 東北支所)

A-20 [11:15] 長野県におけるクロコノマチョウの分布拡大と温暖化の関係について

○江田慧子 (信州大・山岳科学総合研)、熊澤真優、桐生雄介、

辻井美徳、森谷浩之、中村寛志 (信州大学農学部AFC)

井原道夫 (飯田市)

.....

シンポジウム 身の回りの生き物と健康 (12:30~15:00)

一般講演（2日目）

B会場（外来診療棟5F B講義室） 11月17日（日）

セッション3（10:00～11:30）

B—14 [10:00] 流行地での寄生虫検査法としての蔗糖遠心浮遊法の推奨

○松本衣津美¹、土井龍一²、佐藤千歳¹、宇賀昭二^{1,2}

(¹神戸大学大学院保健学研究科、²神戸大学大学院医学研究科)

B—15 [10:15] 虫卵回収率の向上を目的としたホルマリン・エーテル法の再評価

○佐藤千歳¹、SK Rai²、宇賀昭二¹

(¹神戸大学大学院保健学研究科、²Shi-Gan 科学技術国際大学)

B—16 [10:30] 環境中における *Acanthamoeba* spp. の分布状況調査

○柳田潤一郎、宇賀昭二（神戸大学大学院保健学研究科）

B—17 [10:45] 異形吸虫科の小吸虫が引き起こす宿主魚の行動操作

○湊 宏美、小松慎太郎、中西由紀、

宇賀昭二（神戸大学大学院保健学研究科）

B—18 [11:00] *Gongylonema* sp.（線虫：旋毛虫上科）の消化管感染症が疑われたタイ王国の小学生の1症例

○土井龍一¹、Ahmed Ibrahim Youssef²、Somchai Chakhatrakan³、

宇賀昭二^{1,2}（¹神戸大・院・医学 ²神戸大・院・保健 ³Thammasat University）

B—19 [11:15] 血管内容血を伴い激烈な経過をたどった *Clostridium perfringens* 感染症の1症例

○田中久美、向井登司子、三浦典子、白井洋紀、大西重樹

（京都第一赤十字病院 検査部）

ポスター 発表 (1日目)

会場 (外来診療棟 5 F B 講義室前) 11月16日(土) コアタイム (12:45~13:15)

(○発表者、※優秀講演発表賞対象者)

P-1 管理マス釣り場におけるブユに対するBT剤 (VectoBac 12AS) の効果試験

○野口裕志 (住化エンビロサイエンス㈱)、皆川昇 (長崎大学熱帯医学研究所)、
福島誠樹 (元東電不動産株式会社)、丸山真一 (㈱タックルベリー)、
皆川哲 (スカジットデザインズ)

P-2 環境保全型農法が水田の生物多様性におよぼす影響 —滋賀県「環境こだわり」
農法の事例—

※○中西康介・夏原由博 (名古屋大・院・環境)

P-3 富山県の山地においてマレーズトラップで捕獲されたトビケラ成虫

○木村悟朗 (イカリ消毒㈱技術研究所)
山内健生 (富山県衛生研究所)

P-4 万博記念公園におけるセミ類の種多様性-2010~2013年のぬけがら調査結果より-

○西中康明・山田桃代・山本智子・藤田彩子・上谷泰子・千原 裕 (万博記念機構)

P-5 関西大学高槻キャンパス内と周辺のチョウ類群集 (その2).
テングチョウの大発生と奇妙な行動

○吉田宗弘 (関西大学)、吉田 周 (京都精華大学)